

# 直播特報（第1号）

令和4年4月15日  
黒東地域農業技術者協議会

## ～播種後の水管理と除草剤散布～

直播栽培では、確実な苗立ちの確保と的確な雑草対策が重要です。  
播種方法に応じた、水管理の徹底と適期の除草剤散布に努めましょう。

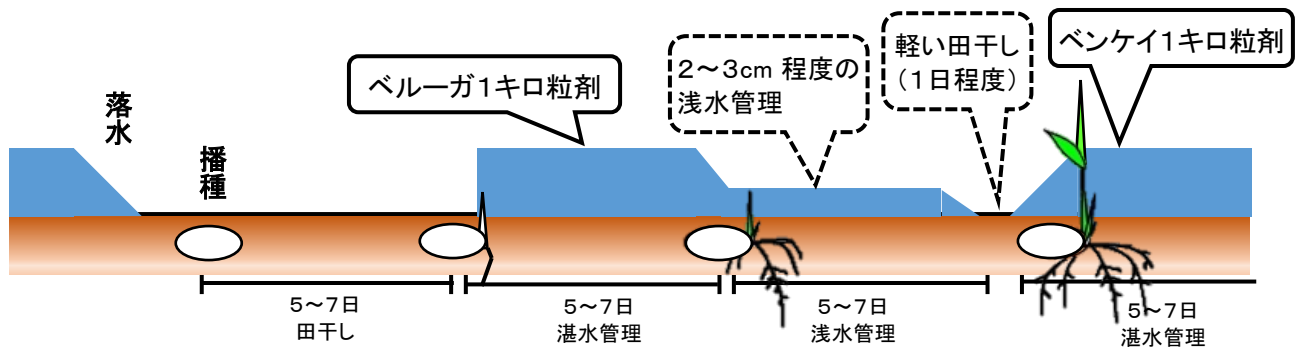
### I. カルパー直播栽培

#### 1. 播種後の水管理

- ・ほ場全体の土壌表面に短い亀裂が入るまで田干しを行いましょ（播種後5～7日間程度）。
- ・水がたまっている場所は、排水溝を増設し、確実に田干しを行いましょ。



#### 2. 除草剤の散布



#### 【播種後の水管理と除草剤散布のスケジュール】

散布	時期	除草剤名（散布量）	備考
1回目	播種後7日頃	ベルーガ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	入水後2日目を目安に散布して下さい。
2回目	1回目の約2週間後 (イネ本葉1葉期以降)	ベンケイ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	気温が高い時には雑草の生育が早まるので散布が遅れないようにして下さい。

※除草剤の散布にあたっては、散布後5日間程度は湛水を保ち、7日間は落水しない!

#### 3. 田干し後の水管理

- ・出芽後は水深2～3cm程度の浅水管理を徹底し、初期分けつの確保に努めましょ。
- ・チラ干しになりやすいので注意ましょ。
- ・風の強い日や低温の時は、深水にましょ。
- ・鳥害の発生に注意ましょ!

・スズメの場合⇒入水（水深3～5cm）  
・カモの場合⇒落水

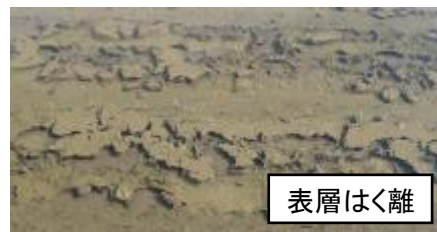
#### 【直播栽培における省力的病害虫防除】

協議会では、ルーチンシードFS（いもち病）、ヨーバルシードFS（イネツトムシ、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、ニカメイチュウ）を処理したカルパーコーティング種子を供給していますので、初期害虫や葉いもち病の防除は原則として必要ありません。

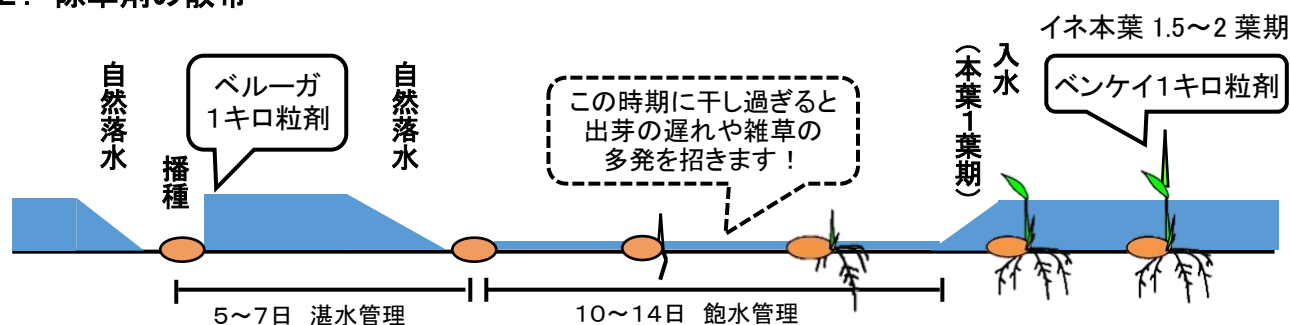
## II. 鉄コーティング直播栽培

### 1. 播種後の水管理

- ・播種後5～7日はやや深水（水深5cm程度）の湛水管理を行い、播種時に散布した除草剤の効果を高めましょう。
- ・湛水管理後に自然減水した後は、イネ本葉1葉期まで飽水管理（ヒタヒタ水）を行います。ただし、スズメの飛来が確認される場合は、湛水して被害を防止しましょう。
- ・播種後、表土が膜状に浮き上がる現象（表層はく離）が見られた場合は、田干しを行いましょう。



### 2. 除草剤の散布



#### 【播種後の水管理と除草剤散布のスケジュール】

散布	時期	除草剤名（散布量）	備考
1回目	播種時	ベルーガ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	播種後すみやかに入水して下さい。
2回目	1回目の約2週間後 (イネ本葉1.5～2葉期)	ベンケイ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	気温が高い時には雑草の生育が早まるので散布が遅れないようにして下さい。

## III. キリウジガガンボに注意

- ・幼虫の発生と出芽のタイミングが一致すると被害が発生します。⇒芽や種籾を食害し、出芽不良となります。
- ※幼虫（右の写真を参照）見かけたら速やかに営農指導員や振興センターにご相談ください。



JAみな穂営農センター TEL 74-2440

JAみな穂中央支店経済課 TEL 72-5379 JAみな穂西部支店経済課 TEL 72-1162

JAみな穂南部支店経済課 TEL 78-1167 JAみな穂あさひ支店経済課 TEL 83-3212

新川農林振興センター農業普及課 TEL 52-0094